

# 【11月3日発送開始】新刊のご案内 歴史・国際政治関連書籍ご担当者様

韓国人新聞記者が迫った、南北の分断と対立の起源。

## これが韓国現代史に横たわった悲劇の源泉だ——

韓国建国に隠された左右対立悲史——

# 1945年、26日間の独立

本体 2500 円 (+税) ISBN978-4-910034-18-8 C3020 四六判 並製 400P / 2023 年 11 月 4 日発売

分断と対立はなぜ引き起こされてしまったのか？  
朝鮮半島が「悲劇の結末」を迎えるまでの 26 日間。

1945 年 8 月 15 日、日本降伏の知らせを聞いた朝鮮人は、この地に統一された独立国家を作るための建国プロジェクトを始めた。建国準備委員会が結成される解放当日から米軍が京城（現在のソウル特別市）に進駐する 9 月 9 日まで、朝鮮民族は外国の「直接介入」なしに自ら運命を決定することができる貴重な機会を得た。本書はこの 26 日間の話と、そこ潜む韓国現代史の起源を探るドキュメンタリーだ。（第 1 章「はじめに」より）

### < CONTENTS >

- プロローグ 8.15 は開いた傷口だった
- 第 1 章 24 時間の三つ巴の戦い
- 第 2 章 民族の求心力と怨恨
- プロローグ 大韓民国に横たわる葛藤の起源を考える

### プロフィール

【著者】吉倫亨（キル・ユニョン）

2001 年「ハンギョレ」新聞に入社。社会部、国際部などを経て、2013 年 9 月から 3 年半、東京特派員として勤務。帰国後、週刊誌「ハンギョレ 21」編集長と「ハンギョレ」国際ニュースチーム長を務め、現在、統一外交チーム長。安倍政権以降本格化した反動の流れの中で、日本軍「慰安婦」問題、日米同盟強化をはじめとする安保政策の変化に関する多くの記事を執筆。

【訳者】吉永憲史（よしなが・けんじ）

国際情報修士。日本国際情報学会に所属し、北東アジア情勢や韓国の政軍関係を研究。防衛省などで 30 年以上にわたって情報活動の最前線で活動した経歴を活かし、安全保障ジャーナリスト、セキュリティコンサルタントとしても活動中。

吉倫亨 | 著  
吉永憲史 | 訳



## 1945年、 26日間の独立

ハンギョレ新聞元東京特派員が迫った

朝鮮半島が  
「悲劇の結末」を  
迎えるまでの  
26日間。

終戦と共に訪れた  
短い「解放」の日々  
分断と対立はなぜ  
引き起こされてしまったのか？

ハガツサブックス

貴店名

ご担当者お名前

お取引方法※どちらかにチェックしてください。

トランスビュー直接取引

取次経由

直取引代行  
トランスビュー

「取次経由」のご要望がない場合は、直接取引にてお届けいたします。配本はございません。1冊からお気軽にお申し付け下さい。（返品随時可／送料元払／取次ルートは完全買切）

【お問合せ】

〒154-0004 東京都世田谷区太子堂 4-23-13-2F

TEL : 03-6313-7795 ハガツサ ブックス 千吉良

ご注文書 ご希望の部数を右の欄にご記入いただき、FAX（フリーダイヤル）にてご注文ください。

# FAX : 0120-999-968

\*訳者が安全保障／防衛ジャーナリストとして活動しており、「ダイヤモンド・オンライン」をはじめ、メディア露出も決まっておりますので、ぜひご検討ください

冊